

11/9 五
九

山際氏起用は「適材適所」

「人事については常に適材適所で行われている。これは政務調査会の人事なので、そちらに聞いていただきたい」

山際大志郎氏が経済再生担当相を辞任してわずか4日後の10月28日に、自民党の新型コロナワイルス対策本部長に就任した人事について、7日の

記者会見で記者団から問われた同党の茂木敏充幹事長はこう言い放ちました。
山際氏は、統一協会との深刻な戀愛が次々と発覚しても「記憶がない」と繰り返してきました。などと覆い隠していました。岸田文雄首相（自民党総裁）は、野党から山際氏の罷免を求められても、山際氏自らが説明するなり擁護。それに対する国民の批判が高まり、野党の追及に追い込まれての事実上の更迭でした。

その山際氏を辞任直後に党の役職に就けたことに世論はあきれました。が、それを「適材適所」などと強弁するのは、岸田政権や自民党の底なしの無反省・無責任さを示すものです。

茂木幹事長が強弁 自民党の無責任さ 底なし